

## 定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年12月6日 9時00分～11時30分

出席委員：佐伯委員長・後藤委員・柘植委員・岩瀬委員・那須委員

### 1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成31年警察運営の基本目標等（案）	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	第61回愛知県警察拳銃射撃競技大会の結果		
3	報告 「登下校防犯プラン」における子供の安全対策の推進 ～企業・団体に対する防犯CSR活動の働き掛け～	生活安全部	生活安全部長 地 域 部 長
4		地域部	刑 事 部 長 交 通 部 長
5		交通部	警 備 部 長 名古屋市警察部長
6		警備部	情報通信部長

### 2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（14件）	総務部	公安委員会執務官  留置管理課長
2 決裁	激励の上申		
3 決裁	任期満了に伴う警察署協議会委員の委嘱		
4 裁決	刑事収容施設法に基づく「再審査の申請」の裁決		
5 決裁	苦情の調査結果	警務部	住民サービス課長
6 報告	監察案件		首席監察官
7 決定	運転免許取消処分に係る執行停止の申立てに対する決定		訟 務 官
8 報告	企業等と連携した交通安全広報活動の実施	交通部	交 通 部 長
9 決定	聴聞等の実施結果・決定 48件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

## 議事の概要

県議会出席のため、那須委員が途中退席した。

### 1 全体審議

#### (1) 警務部

##### ア 平成31年警察運営の基本目標等（案）

警務部長から、

「前回、前々回の定例会での御意見等を踏まえ、平成31年警察運営の基本目標は、

『安心』して暮らせる『安全』な愛知の確立  
とし、最重要課題を

暴力団の壊滅

交通死亡事故の抑止～減少傾向の定着～

犯罪の抑止

大規模警備の完遂

とする。

また、重要課題については、

繁華街・歓楽街の安全安心の確保に向けた総合対策の推進

サイバーセキュリティ総合対策の推進

街頭活動の強化及び事件事故発生時における迅速的確な対応

重要事件に対する検挙活動の強化

新たな刑事司法制度への対応等時代や情勢の変化に応じた捜査  
の推進

○ 選挙違反の適正な取締りの推進

大規模災害に対する総合的な諸対策の推進

ワークライフバランスの実現に向けた取組の推進

優秀な人材の確保、計画的な施設整備等警察活動を支える人的  
・物的基盤の強化

高い規律と士気を有する組織の確立

とする」

旨の説明があり、公安委員会の了承を得た。

委員から、

「公安委員会の意見を反映してもらい、県民に分かりやすい表現となった。この基本目標を基にして、各部の目標を、前例踏襲とならないようしっかり立てていただきたい」

旨の発言があった。

## イ 第61回愛知県警察拳銃射撃競技大会の結果

警務部長から、

11月30日に行われた第61回愛知県警察拳銃射撃競技大会の結果について報告があった。

## (2) 生活安全部

「登下校防犯プラン」における子供の安全の推進～企業・団体に対するCSR活動の働き掛け

生活安全部長から、

「本年6月に策定された『登下校防犯プラン』に基づき、県警察においても子供の安全確保に向けた各施策を推進しているが、民間企業に防犯CSR活動を働き掛けたところ、企業、団体等が防犯カメラの設置等、子供を守るための自主的な取組を推進していただけることとなった」

旨の報告があった。

委員から、

「更なる協力の輪が広がるよう、積極的に民間企業等を巻き込んでいただきたい」

旨の発言があった。

## (3) 地域部

主要事件の検挙

地域部長から、  
部門横断的な初動警察活動による軽犯罪法違反被疑者の検挙概要  
について報告があった。

委員から、  
「見事な連携による検挙で非常に頼もしい」  
旨の発言があった。

#### (4) 交通部

交通事故発生状況（平成31年11月末）

交通部長から、平成30年11月末の交通事故発生状況について、  
「交通事故死者数は、11月中13人で前年同期と比べ2人減少した。

11月中の交通死亡事故の主な特徴は、  
自転車死者が増加  
二輪車死者が増加  
週末（土曜日及び日曜日）に多発  
歩行者死者が減少  
一宮市内で集中発生

である。

12月中の主な取組は、  
交通死亡事故抑止対策の強化  
年末の交通安全県民運動（1日（土）～10日（月））  
ラジオを活用した交通安全広報の実施

である」  
旨の報告があった。

#### (5) 警備部

北朝鮮人権侵害問題啓発週間における施策の推進

警備部長から、  
「12月10日（月）から16日（日）までの間は、拉致問題等についての関

心と認識を深めるために設けられた、北朝鮮人権侵害問題啓発週間である。

警察では、

警察本部、警察署等での広報用ポスターの掲出

イベント会場、警察関係団体の会議会場における広報用チラシの  
配布

ケーブルテレビを活用した啓発活動

民放及び地域コミュニティラジオ放送を活用した啓発活動

県警ホームページ等による啓発活動

職員に対する教養

等を実施する予定である」

旨の報告があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（14件）

公安委員会執務官から、

12月3日までに届いた公安委員会宛の文書14件  
について報告があり、決裁した。

### (2) 激励の上申

公安委員会執務官から、

不良外国人グループによる広域的組織的出店荒し事件合同捜査班等（侵入盗ワースト返上に向けた検挙活動）  
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

### (3) 任期満了に伴う警察署協議会委員の委嘱

公安委員会執務官から、任期満了に伴う警察署協議会委員の委嘱について、

「本年12月31日で任期満了となる44警察署協議会の委員について、各警察署から後任候補者として322人の推薦があり、そのうち、240人を委嘱する」

旨の説明とともに、

各警察署ごとの警察署協議会委員候補者一覧表の提示があり、審議し、決裁した。

(4) 刑事収容施設法に基づく「再審査の申請」の裁決

留置管理課長から、刑事収容施設法に基づく再審査の申請について、申請内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、一部修正の上、裁決した。

(5) 苦情の調査結果

住民サービス課長等から、公安委員会宛の「告訴の受理等に関する苦情」について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明があり、原案どおり決裁した。

(6) 監察案件

首席監察官から、  
監察案件  
について報告があった。

(7) 運転免許取消処分に係る執行停止の申立てに対する決定

訟務官から、運転免許取消処分に係る執行停止の申立てについて、申立て内容の説明及び「決定書案」の提示と説明があり、審議の上、原案どおり決定した。

(8) 企業等と連携した交通安全広報活動の実施

交通部長から、  
経済界及びマスメディアと連携した交通安全活動の実施  
について報告があった。

(9) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、  
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 47件  
銃砲所持許可取消処分に関する聴聞結果 1件  
について報告があり、行政処分を決定した。

## 定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年12月13日 10時00分～11時45分

出席委員：佐伯委員長・後藤委員・岩瀬委員・那須委員

### 1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1	刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成30年11月末）	刑事部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	空陸一体となった夜間警戒の実施		生活安全部長
3 報告	主要事件の検挙		地 域 部 長 刑 事 部 長
4	遠隔型自動運転システムの公道実証実験に係る取組・支援状況	交通部	交 通 部 長 警 備 部 長
5	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成30年11月中）	警備部	名古屋市警察部長 情報通信部長

### 2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	苦情の調査結果	警務部	住民サービス課長
3 報告	監察案件		首席監察官
4 決定	聴聞等の実施結果・決定 33件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官



## 議事の概要

### 1 全体審議

#### (1) 刑事部

##### ア 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成30年11月末）

刑事部長から、平成30年11月末での刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年同期との比較）について、

「 刑法犯の認知件数は50,868件で、9,665件減少した  
刑法犯の検挙件数は18,036件で、1,838件減少した  
刑法犯の検挙率は35.5パーセントで、2.7ポイント上昇した  
刑法犯の検挙人員は13,018人で、448人減少した  
重要窃盗犯の認知件数は5,463件で、2,195件減少した  
重要窃盗犯の検挙件数は2,692件で、1,104件減少した  
重要窃盗犯の検挙率は49.3パーセントで、0.3ポイント下降した  
重要窃盗犯の検挙人員は508人で、70人減少した」

旨の報告があった。

委員から、

「 検挙と一斉指令の効果が出ていると思う。侵入盗ワースト脱却に向け、年末までがんばっていただきたい」

旨の発言があった。

##### イ 空陸一体となった夜間警戒の実施

刑事部長から、

「 住宅対象侵入盗やひったくり等の未然防止と被疑者の検挙を図り、県民の安全、安心を確保するため、刑事部と地域部が連携し、警察航空機を活用して夜間時間帯における空陸一体となった警戒活動を実施する」  
旨の報告があった。

##### ウ 主要事件の検挙

刑事部長から、  
組織窃盗グループによる広域組織的出店荒し事件の検挙  
について報告があった。

## (2) 交通部

遠隔型自動運転システムの公道実証実験に係る取組・支援状況

交通部長から、  
「昨年度は、幸田町等において、運転席に人がいない形で全国初となる  
遠隔型自動運転システムによる公道実証実験を実施した。今年度は、愛知  
県が主体となり、企業や大学が参画し、遠隔監視・操作者1人が同時に2  
台の車両を遠隔監視・操作する公道実証実験を実施する予定である」  
旨の報告があった。

## (3) 警備部

行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成30年11月中）

警備部長から、11月中の行進又は集団示威運動に関する条例の取扱状況に  
ついて、  
「7件の許可申請を受理し、全て許可した」  
旨の報告があった。

## (4) その他

本部長から、  
「侵入盗の認知件数、交通事故死者数共に、ワースト返上に向け最後まで  
懸命に取り組んでいく」  
旨の説明があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（2件）

公安委員会執務官から、  
12月10日までに届いた公安委員会宛の文書等2件  
について報告があり、公安委員会は「交通取締りに関する申出」を警察法79  
条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁し  
た。

### (2) 苦情の調査結果

住民サービス課長等から、  
公安委員会宛の「事案対応に関する苦情」について、調査結果の報告及  
び申出者に対する通知文案の提示と説明  
があり、一部修正の上、決裁した。

### (3) 監察案件

首席監察官から、  
監察案件  
について報告があった。

### (4) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、  
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 32件  
再発防止命令に係る意見聴取結果 1件  
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年12月20日 9時00分～13時15分

出席委員：佐伯委員長・後藤委員・柘植委員・岩瀬委員・那須委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成31年警察運営の基本目標ポスターの作製	総務部	本 部 長 総 務 部 長
2	総合広報誌「View 愛知のまもり」平成31年版の発行		
3	1月の行事予定	警務部	警 務 部 長
4	初詣に伴う雑踏警備の実施	地域部	生 活 安 全 部 長 地 域 部 長
5	平成31年「110番の日」広報活動の実施		
6	主要事件の発生	刑事部	交 通 部 長 警 備 部 長
7	主要事件の検挙		
8	警護警備の実施	警備部	名 古 屋 市 警 察 部 長 情 報 通 信 部 長
9	平成30年度愛知県国民保護共同実動訓練への参加		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（8件）	総務部	公 安 委 員 会 執 務 官
2	決裁 激励の上申		
3	決裁 警察署協議会委員の辞職及び委嘱（2件）		
4	報告 平成30年度術科監察の実施	警務部	首 席 監 察 官
5	報告 監察案件		
6	決裁 行政訴訟の発生及び応訴		訟 務 官
7	裁決 運転免許停止処分に対する審査請求		
8	裁決 運転者区分決定に対する審査請求（4件）		
9	決裁 愛知県安全なまちづくり条例に基づく公表に関する規程の制定等（案）	生活安全部	生 活 安 全 総 務 課 長
10	報告 ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施		子 ども 女 性 安 全 対 策 課 長
11	報告 交通事故発生状況と今後の対策	交通部	交 通 部 長
12	報告 交通違反の不成立事案の発生と今後の対応		交 通 指 導 課 長
13	報告 警察職員の援助派遣	警備部	警 備 課 長
14	決定 聴聞等の実施結果・決定 51件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

## 議事の概要

県議会出席のため、佐伯委員長が途中退席し、以後は後藤委員が代行を務めた。また、県議会終了後、佐伯委員長は審議に復帰した。

### 1 全体審議

#### (1) 総務部

##### ア 平成31年警察運営の基本目標ポスターの作製

総務部長から、

「平成31年警察運営の基本目標及び最重要課題を記載したポスターを警察施設に掲示することにより職員への意識付けと士気高揚を図るとともに、県民の警察活動に対する理解を深める。なお、全職員が一体となって基本目標を達成しようとする意識を醸成するため、本年からは、全職員からポスターの案を募集し、最も優秀であったポスターを基に作製した」

旨の報告があった。

委員から、

「来年も職員一丸となり目標達成に向け頑張っていたきたい」

旨の発言があった。

##### イ 総合広報誌「View 愛知のまもり」平成31年版の発行

総務部長から、

「県民に愛知県警察の基本方針や活動の実態をわかりやすく紹介し、警察活動への理解と協力を得るとともに、警察官及び警察職員の採用勸奨活動にも活用するため、総合広報誌『View 愛知のまもり』平成31年版を発行する」

旨の報告があった。

#### (2) 警務部

## 1月の行事予定

警務部長から、1月の行事予定について、

「県警強調業務は、

○ 愛知県知事選挙における選挙違反の適正な取締り  
である」

旨の報告があった。

## (3) 地域部

### ア 初詣に伴う雑踏警備の実施

地域部長から、

「年末年始は、初詣のため神社、仏閣等に多数の人出が予想され、雑踏事故の発生が懸念されるほか、これに伴う各種犯罪等の発生も予想されることから、それらの発生を防止し、公共の安全と秩序を維持するため、12月31日（月）から平成30年1月3日（木）までの4日間、雑踏警備を実施する」

旨の報告があった。

### イ 平成31年「110番の日」広報活動の実施

地域部長から、

「平成31年1月10日の『110番の日』を中心に広報活動を展開し、110番通報制度に対する県民の一層の理解と協力を求める」

旨の報告があった。

委員から、

「外国人居住者に対しても周知を徹底していただきたい」

旨の発言があった。

## (4) 刑事部

## ア 主要事件の発生

刑事部長から、

「12月12日、知多警察署管内において死体遺棄事件を認知し、翌13日、同署に捜査本部を設置した。

また、12月17日、豊川警察署管内において殺人事件を認知し、翌18日、同署に合同捜査班を設置した」

旨の報告があった。

## イ 主要事件の検挙

刑事部長から、

尾張北部におけるアパート対象の空き巣事件被疑者の検挙概要について報告があった。

委員から、

「空陸一体となった見事な検挙である」

旨の発言があった。

## (5) 警備部

### ア 警護警備の実施

警備部長から、

警護警備の実施

について報告があった。

### イ 平成30年度愛知県国民保護共同実動訓練への参加

警備部長から、

「国民保護法に基づき、国、地方公共団体、関係機関、地域住民等が一体がとなった共同実動訓練を実施し、各機関が行う対処要領の確認及

び相互の連携強化を図るとともに、国民保護措置に関する県民の理解を促進するため、平成31年1月11日（金）に豊田市内で行われる訓練に愛知県警も参加する」旨の報告があった。

## (6) その他

本部長から

「交通事故死者数及び侵入盗認知件数共にワースト返上に向け総力を尽くす」

旨の説明があり、

委員から、

「最後までしっかりお願いしたい」

旨の発言があった。

## 2 個別審議

### (1) 公安委員会宛文書等の受理（8件）

公安委員会執務官から、

12月17日までに届いた公安委員会宛の文書等8件について報告があり、決裁した。

### (2) 激励の上申

公安委員会執務官から、

知多市北浜町地内における死体遺棄事件捜査本部に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

### (3) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱（2件）



公安委員会執務官から、  
警察署協議会委員の辞職及び委嘱 2 件  
について報告があり、2 警察署協議会委員 2 人の辞職及び後任者 2 人の委嘱  
について決裁した。

#### (4) 平成30年度術科監察の実施

首席監察官から、  
「平成31年 1 月30日（水）から 3 月 8 日（金）までの間、建て替え工事  
中の西尾警察署を除いた全警察署において平成30年度の術科監察を実施す  
る」  
旨の報告があった。

#### (5) 監察案件

首席監察官から、  
監察案件  
について報告があった。

#### (6) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、  
銃砲所持許可申請許可処分の義務付け等請求控訴事件の概要及び今後の  
応訴方針  
について説明があり、決裁した。

#### (7) 運転免許停止処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許停止処分に対する審査請求について、  
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明  
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(8) 運転者区分決定に対する審査請求（４件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求４件について、  
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明  
があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(9) 愛知県安全なまちづくり条例に基づく公表に関する規程の制定等（案）

生活安全総務課長から、  
「愛知県安全なまちづくり条例第32条第６項に基づく公表について、事  
務手続きの明確化等を図るため、新たに公安委員会規程を定める」  
旨の説明があり、決裁した。

(10) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に  
基づく警告等の実施について、  
「平成30年11月中は、面会等要求を理由に、禁止命令等を１件実施した。  
また、うろつき、粗野乱暴な言動、連続電話、名誉を害する事項の告知  
等を理由に33件の警告を実施した」  
旨の報告があった。

(11) 交通事故発生状況と今後の対応

交通部長から、  
交通事故発生状況と今後の対策  
について報告があった。

(12) 交通違反の不成立事案の発生と今後の対応

交通指導課長から、

交通違反の不成立事案の概要及び今後の対応  
について報告があった。

委員から、  
「同様の事案が起きないように指導教養を徹底されたい」  
旨の発言があった。

(13) 警察職員の援助派遣

警備課長から、  
「福井県公安委員会及び福島県公安委員会から、本県公安委員会に対し、  
警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、それぞれ必要な警察職員を  
派遣する」  
旨の報告があった。

(14) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、  
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 48件  
風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 3件  
について報告があり、行政処分を決定した。